

がん化学療法レジメン

レジメン名	脳腫瘍初発TMZ+放射線+Bmab
対象疾患	悪性神経膠腫
1コース日数	放射線併用期:70日、維持療法期:28日、Bmab単剤療法期:28日
対象患者区分	■ 外来 ■ 入院
申請医師診療科 氏名	脳神経外科 竹中俊介
登録年月日	2017年9月22日

- ・ テモダールは、一般名テモゾロミド、略語TMZ
- ・ アバスチンは、一般名ベバシズマブ、略語Bmab
- ・ 以下のGradeは、NCI-CTC(National Cancer Institute - Common Terminology Criteria) 米国立がん研究所有害事象共通用語規準のグレード

放射線併用期

Rp.	癌	薬品名	投与量	
1	*	テモダールカプセル100mg	1回75mg/m ²	
	*	テモダールカプセル20mg	1日1回空腹時	
			(食事の1時間以上前又は食後2時間以上)	
放射線照射			2Gyを週5日、分割照射、総線量60Gy	
Rp.	癌	薬品名	投与量	手技
1		生理食塩液「ヒカリ」50mL	1瓶	点滴静注
2		大塚生食注100mL	1瓶	【化療混注】点滴静注
	*	アバスチン点滴静注用400mg	10mg/kg	
	*	アバスチン点滴静注用100mg		
3		生理食塩液「ヒカリ」50mL	1瓶	点滴静注

- ・ 併用療法期間中、放射線療法の初回照射日とアバスチン及びテモダールの初回投与を行う。
- ・ 同様に、放射線療法の最終照射日にアバスチン及びテモダールの最終投与を行う。
- ・ 放射線療法を中止した場合は、アバスチン、テモダールともに投与を中止する。
- ・ 放射線療法終了日の翌日からアバスチンとテモダールを4週間休薬する。
- ・ テモダール休薬等の目安

テモダール開始基準:好中球数 1,500/mm³以上、血小板数 100,000/mm³以上
 少なくとも週1回血液検査を実施し、下記の基準に基づき休薬又は中止すること

項目	継続基準	休薬基準
好中球数	1,500/mm ³ 以上	500/mm ³ 以上 1,500/mm ³ 未満
血小板数	100,000/mm ³ 以上	10,000/mm ³ 以上 100,000/mm ³ 未満
非血液学的な副作用 (脱毛、悪心、嘔吐以外)	Grade 1 以下	中等度の副作用 (Grade 2)

好中球数及び血小板数が最低値に達するのは投与後22日以降と比較的遅い
 放射線照射の中断により放射線治療期間が延長した場合、上記継続基準の
 42日間連日経口投与を最長49日まで延長することができる。

維持療法期(6クール)

Rp.	癌	薬品名	投与量
1	*	テモダールカプセル100mg	1回150mg/m ² (維持療法期第2コース以降)

	*	テモダールカプセル20mg	200mg/m ² に増量可)
			1日1回空腹時
			(食事の1時間以上前又は食後2時間以上)

Rp.	癌	薬品名	投与量	手技	投与ルート
1		生理食塩液「ヒカリ」50mL	1瓶	点滴静注	メイン
2		大塚生食注100mL	1瓶	【化療混注】点滴静注	メイン
	*	アバスチン点滴静注用400mg	10mg/kg		
	*	アバスチン点滴静注用100mg			
3		生理食塩液「ヒカリ」50mL	1瓶	点滴静注	メイン

・ テモダール休薬等の目安

項目	各コース開始基準	増量基準(維持療法期開始時に増量できなかつた場合、それ以後増量しない。)
好中球数	1,500/mm ³ 以上	維持療法期第1コース(最低値が1,500/mm ³ 以上)
血小板数	100,000/mm ³ 以上	維持療法期第1コース(最低値が100,000/mm ³ 以上)
非血液学的な副作用(脱毛、悪心、嘔吐以外)	基準なし	維持療法期第1コース(Grade 2 以下)

好中球数及び血小板数が最低値に達するのは投与後22日以降と比較し、中止基準

- ・ Grade 4 の非血液学的な副作用(脱毛、悪心、嘔吐以外)
- ・ 100mg/m²/日未満に減量が必要となった場合
- ・ 直前のコースと同じGrade 3 の非血液学的な副作用(Grade 3 以上)

Bmab単剤療法期(有効時継続)

Rp.	癌	薬品名	投与量	手技	投与ルート
1		生理食塩液「ヒカリ」50mL	1瓶	点滴静注	メイン
2		大塚生食注100mL	1瓶	【化療混注】点滴静注	メイン
	*	アバスチン点滴静注用400mg	15mg/kg		
	*	アバスチン点滴静注用100mg			
3		生理食塩液「ヒカリ」50mL	1瓶	点滴静注	メイン

参考文献

テモダールカプセル添付文書
アバスチン適正使用ガイド

21日

ria)

	day1		day42
	●	→	●
以降に)			

投与ルート	点滴時間	day1	day15	day29	day43
メイン	プライミングして残破棄	●	●	●	●
メイン	90分(2回目60分、3回目以降30分でも可)	●	●	●	●
メイン	全開にてフラッシュ	●	●	●	●

毎日は同日とする。

上
こと。

	中止基準
	500/mm ³ 未満
上 未満	10,000/mm ³ 未満
用	重度又は声明を脅かす副作用 (Grade 3 又は 4)

いことが知られているので注意。
条件を満たしたときに限り、

	day1	day2	day3	day4	day5
以降	●	●	●	●	●

以降に)					

点滴時間	day1	day15
プライミングして残破棄	●	●
90分(2回目60分、3回目以降30分でも可)	●	●
全開にてフラッシュ	●	●

第1コース った場合、	50mg/m ² 減量基準
の期間中 上	直前のコースで最低値が 1,000/mm ³ 未満
の期間中 以上	直前のコースで最低値が 50,000/mm ³ 未満
の期間中	直前のコースで Grade 3

較的遅いことが知られているので注意。

外)が出現した場合

脱毛、悪心、嘔吐以外)が再度出現した場合

点滴時間	day1
プライミングして残破棄	●
90分(2回目60分、3回目以降30分でも可)	●
全開にてフラッシュ	●